

DUAL WING

ADULT
COMICS



2010 WINTER BAKURETSUJ FUSEN PRESENTS



ちよ…

あ、あんま
見ないでよ
バカ…っ

わあ…

すごい…
この二人が
こんな姿で…

僕の目の前に
居てくれる
なんて…っ

き、気安
く
触んじや
ないわよっ

ちよっ…

あ…っ

ふん

ああ…もう
たまらないよ
僕…っ

二人の
可愛いお尻が
目の前に…っ



だ…ダメ
だ…ダメ
だ…ダメ
もう…っ♡

あ…ああ
あ…ああ
あ…ああ

はあ♡

はあ♡

はあ♡
お、奥が…っ
凄く切なくっ
て…っ♡

あ…♡

あ…♡
あ…♡

あ…あ
あ…あ

も、もう
出る…っ

も…もう
止められ
ない…っ

あ…っ

あ、アンタ
…までそんな

だめ…っ
そんな優しく
揉んだら…っ

ほ、ほら
どじやっ

あぁっ♡

あっ♡

お、オッパイも
凄く感じちゃう
んだから…っ

ピュルピュルッ

あ…あ
あぁっ♡

はぁ♡

はぁ…♡

ふ、二人とも
愛してるよ…

あぁ…っ
もうだめだ
僕…っ

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ



ああ…

ヒュウ ヒュウ ヒュウ…



雲が流れていく…

こんな気持ちいい
青空の下で
僕は…



この2人の
間に漂う
緊迫した空気
の中で…

それでも…
僕は身動き一
つ取れない…



うう… 恥ずかしい…
こんな…

下半身丸出しで
正座させられてる
なんて…



ああもう
情けない!!

こんな状況なのに
おチンチンが反応
しちゃうなんて……っ

ビビッソソ



とにかくもう
気まずくて
何にも出来ない……

……

キュ

ウウ

ウ

ウ

08



ちょっと
どういう事よ
コレはあ!

ハッ

納得のいく説明
してみなさいよ
この
バカシンジっ!

うっ……
うっ……



ビビッソソ

うっ?!

じゅ



同じ屋根の下で暮らしているせいかなスカとは随分心の距離が縮まって...

あ...あ

...話せば長くなるのだけど

なぜこうして詰め寄られてるのかと言うと...

最近では毎晩のように体を重ねあつてるんだけど...



そして...今のこの状況に至るといふ訳で...



実は最近、綾波とも仲良くなつて...
屋組みに人目を避けて学校の屋上でしている所を

どういう訳か上がってきたアスカに見つかってしまった



...ふん





も...もう
ホント大変
なんだから...

ど、どんなに
疲れてても
コイツは強引に

あ、心

あ、心
シムシム

あ、心

あ、心

あ、心

あ、心
アスカ

あ、心

あ、心
だめえ、
どうかな？

あ、心

毎晩、私の事
いいように
弄んで...

あ、心
あおれ
だめえ

あ、心

あ、心

あ、心

あ、心

あ、心

あ、心

も、もう何回
欲情されたか
判らないん
だから...っ！



それなら私達もあるわ…

あ…いやその…

…本当なのシンジ君？

え…？

ほ、僕もなんて言っているのか…



…最近はよく私のマンションまで一緒に来てくれて…

私の事を何度も何度も抱いてくれるの

はあ♡

はん♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

そんなシンジ君があつたかくって…



あッ!!

アッ!!

私も…もう我慢できなくなつたから…

シンジ君のもこんなに大きくて切なそう…



フッ…
いや…その…

ちよつ…それ本当?

私も…もうシンジ君の事が頭から離れなくなつて…

こうして…学校でも屋上でしてもらわないと



アッ!!



あ…あ綾波い…っ

ちよ…ちよつとお待ちなさいよ

な…何勝手に始めてんのよアンタはあ!

んんっ♡

んんっ♡



こんなに、先から溢れるくらいに我慢して…

私が…気持ちよくしてあげる…

アッ!!♡



いい加減に
しなさいよね

ちよっ…もう
換わんなさいよ

あっ…

いつまで
そうやって
しやぶってんの
よお…っ



んん…
わん…
っ私も

んん…
んん…
っ

んん…
んん…
っ

んん…
ちよ…
っ押さないですよ…



あ…ああ
だ、駄目だよ
2人とも…っ

そんな…っ
…っそんなしちやあ

んん…
んん…
っ

んん…
んん…
っ



ハイ！
ハイ！
あ…あ
も、もう
だめだ…っ

ん…ん♡
ふ…ん
ん…ん♡
ん…ん♡
ん…ん♡



こんなかわいいお尻が
目の前に…っも
あったら…もっ…っ

こ…
こんな…っ



僕ほ…っ

あ…

ちみ…っ

や、やだ
いきなり
下ろさないで
よお…っ

も、もう
我慢できない
…っ！

も、もう
止まらない
……っ

やあ…ん

ハアッ

あ…

ど、どっちか
片方だけなんて
いやだ……っ

あ…
あ…っ♡

ほ、僕は
この娘達を
……っ

ちよっ…
シンジ…っ

2人とも、あ
愛しているんだ
……っ

はあ♡

はあ♡

だ…っ
だめえ

だ、だから
2人いつぱんに
……っ

ん…
ん…っ

あ…ん♡

ん…っ





うっ…うっ…うっ…
うっ…うっ…うっ…
うっ…うっ…うっ…

あ…
ああ…んっ
ちよっとお
…っ

と、とばし過ぎ
だつてばあ…っ
シ、シンジいっ

す、凄く
気持ちよく
て…っ



あ…んっ
は、激しすぎる
うう…っ

はあ…っ

も、もう…っ
そんないっぱい
突いちゃあ…
…っ



ああ…っ
あっあ…♡

も、もう
だめえ…っ
わ、私いっ♡

お…奥が…っ
ものすく
あつ…っ♡

…っ…
…っ…
…っ…



はあ...んっ
そんな...っ

うっ...うっ...
うっ...!!

や、やあ...ん
いっばい
出てるっ...

あ...あ
あ...あ

くっ...
くっ...!!

うっ...
うっ...!!

あ...
あ...!!

あ...
あ...!!

あ...
あ...!!

ふう...い、
いっばい射精
しちやった...

ごめん...
すごく気持ち
良かったから...



え...?



だ...大丈夫かい
アスカ...?

ごめん...僕
夢中に
なり過ぎてて...

あ...あ
ハア...

あ...
ハア...



うわあっ!
な、何っ?!

ちよっ...
あ、綾波?!



ず...
ずるい...

この娘にばかり
こんなにして
あげるなんて...

私も...シンジ君と
一緒に気持ち良く
なりたい...もの

あ...
綾波...





ああ…こんな
柔らかいお尻が
目の前に…っ

う…う…う…
すこく
たまんないよ
アスカの
可愛い
お尻…っ♡

フリー♡

ん…っ

ほ、僕もう
我慢できない
んだ…っ



ああ…
あ…っ

はあ♡

はあ♡

はあ♡

あ…あんっ
そんな…っ

ああっ♡

シン…シン君
熱いのが…わ
私の中に…っ♡

だめ…っ
奥まで舌
ねじ込んで
…っ♡



う……う
で、出る
出る……

あ……あ
き、来て
……っ♡

ああ……♡

あ、綾波の
中……っ、す
凄く気持ち
良くて……っ



こ、今度は
アスカのお尻
で……っ!!

も、もう
止まんないよ
僕……!!

は……あ
……ああ♡



あん♡

う……う



ご、ごめん
もう挿れる
よ……っ

あ、アスカの
タプタプの
お尻……っ

あ……ああ

も、もう
欲しくてたまん
ないんだ……

あ……ああ
……そんなあ

う……うっ
アスカあっ♡

あ……あっ♡

う……うっ
気持ちいい
アスカ……っ

やっ……ちよ
だめえ……っ
シンジ……っ♡

そんな……っ
グングンお尻
突かれたら
私……っ♡

あ……



このまま...
もう3人で
一緒に...

ずるい...

この娘...
ぱっかり...

ああ...

あ...
綾波...

このまま...
もう3人で
一緒に...

な、なんて
僕は幸せ
なんだ...

だわ...私
にして欲
しい

あ...あ

はあ...

あ...
シンジ君

あ...
あ

お、奥が
熱い



う……う……
せ、切ないの
お尻が……♡

奥までグリグリ
ほじられて……
もう……私♡



ふん……
ふん……♡

そ、そんな
奥まで
突いちや……♡

あ……あ
だめ♡



う……う……
う……う……
い……イク……



あ……
あ……♡

君……♡
し……
シンジ

ふん……
ふん……♡

あ……あ
あ……あ
♡

う……
う……
もう……
僕♡



ああ…っ
す、す…っ
こんな事
…っ



は…ああ
来てる…っ
お尻に…
熱いのが
いっばい…っ



こんな可愛い
お尻を僕が独占
してるなんて
…っ…!



ふ…っ♡
…っ♡
く…っ♡



い…っ
綾波…っ
い…っ
いくよ…っ



ハッ?
ああ…
ああ…
はあ…
…っ♡



う…っ
う…っ
う…っ
も…っ
う…っ
だ…っ
め…っ
だ…っ

こ、今度は
綾波と…っ

あ…っ♡

あ…ああつ
あ、綾波いっ
…!

お、お尻…っ
キョんキョん
締まって…っ

ううっ…
た、たまん
ないよ…っ

あ…ああ
う…嘘お

さ、先刻
あんなに出した
のに…まだ…

あ…あ
あ…っ

あ…あ
あ…っ

あ…ああつ
こ、腰が止まら
ないよ…っ

あ…あ…っ
もう駄目っ
あ、綾波いっ

はあ…っ

はあ…っ

あ…あ
あ…っ

綾波のお尻っ
き、気持ち
良過ぎて…っ

もう出る…っ
だ、出すよ…
中に…っ



あ...あぁ...
き、気持ち
いい...っ

う...う
う...う
う...う
出るっ

綾波のお尻っ
す、凄く
締まって...っ

う...う
う...う
う...う
♡



あぁ...
もうだめだ...
僕...

は...っ
♡

あ...
♡

あ...
♡

はあ...あ
...あ...あ
♡

あ...
あ...
♡

この二人に...
全部搾り取られ
ちやったみたいだ
...



あ…私…つわ

私…もっと シンジ君と

あ、アンタは今やったばっかじゃない…？ 次は私が…？

ちよつ

あ…

ああ…

ん…ん… シンジ君…♡

ちよつ…お 押さないでよ…？

じゃ、邪魔よ もっとそっち寄りなさいよ…？



あ… ああ…

ああ… そんな…

僕…もう… もう…！



ん…もう…？ またこんなになんて大きくなつて…♡

ん…♡

ああ… あつたかい…♡ もっと…私…♡



…というわけで、ここまで読んで頂いてありがとうございます。
表紙には2010年・冬と書いてあるような気もしますが、
あまり気になさるめよう…(汗)…いや、面目ありません。個人的に
色んな事ありましてあれやこれやあって遅れに遅れてようやく形にできた次第でして…
何ともお恥ずかしい…
冬コミの際、わざわざブースの方に来て頂いた皆様、本当に申し訳ありませんでした。
新刊がお届けできなかったのは非常に心苦しいです。お詫び…でも無いですが
何とか終わるまで一生懸命仕上げました。…できればこれに懲りず今後とも
お付き合いいただけますと幸いです。
それではまた、次の本で…

2011年某日 でん吉



多分次はこの型が登場する…はず…（汗）
それではまた次の本で…

奥付

発行日：2011年5月1日

発行者：爆裂風船

連絡先：baku-fu@pop02.odn.ne.jp

HP：http://www2.odn.ne.jp/~bakuretu/

印刷所：あかつき印刷様

禁無断転載・無断複製

18歳未満の方の購読をお断りします。



DUAL WING

**2010 WINTER
BAKURETSU FUSEN
PRESENTS**